

【実践報告】

○知的好奇心

「どうしたらいいだろう」「やってみよう」という知的好奇心を引き出すために課題提示に工夫をしてきた。

・「どのテープがながい？」

- ① 黒板に長さの違う紙テープを向きや場所をばらばらに掲示する。
- ② どのテープが長い予想する。
- ③ いろいろ長さ比べをする。
- ④ 比べるために必要なことを確認する。

近くに並べる。端をそろえる。ぴんと張る。

・「一番長い鉛筆を見つけよう。」⇒「友だちの鉛筆と比べたい。」

- ① 自分が持っている鉛筆の長さ比べをする→テープで行った比べ方を一人一人で行う。
- ② 隣の人と、グループで、クラスのみなどと。
- ③ 比べるために必要なことを確認。

平らな面をそろえる。まっすぐにする。

・教科書の縦横を比べる。「隣の人といろいろな方法を考えよう。」

- ・折る。
- ・2冊を重ねる。
- ・紙に長さを書く。
- ・テープに写し取る。
- ・指を広げていくつ分か。
- ・鉛筆何本分か。

◇ 長さが物（人）によって変わってしまうものはだめ。

・まとめ「いろいろなところの長さを比べよう。」

- ① 2人1組で紙テープを持って測りたい場所に行き、長さを測ってくる。
- ② それぞれの紙テープを黒板に貼り、長さを比べる。

授業の実際 《児童の様子》

最初に黒板にいろいろな長さの紙テープをいろいろな向きで提示して「どのテープが一番長い？」と聞いたところ、「○色が長く見える。」「△色が長く見える。」と予想を言い始めた。「どうしたら比べられる？」と聞くと、いろいろなことを口々に言い始めたので、「やってみよう」というと、ほとんどの児童が前に出てきて、いろいろなことを言い合いながら、最終的に5本の紙テープをそろえて並べ、比べることができた。そこで、比べるポイントを確認した。

次に一人で鉛筆の長さを比べ、友だちの鉛筆と比べることに発展していった。

次の教科書の縦横の長さ比べでは、2人グループで行うことによって、2冊の教科書を使ったり、いろいろな方法を考えたりすることができた。まとめのいろいろなところの長さ比べまで、とても意欲的に活動し、解決していくことができた。

